設的努力ニ呼應シ來ラザリシハ遺憾ナル次第ナリ。

問　揚子江開放ハ暫定協定締結ノ代償トシテ爲サレタルモノナリヤ。

答　右開放ノ準備ハ、軍事的絶對要求度ノ緩和ニ從テ爲サレタルモノナルカ、右ハ我方ノ占領地行政ノ公正ニシテ日本ガ支那ニ於テ排他獨占的ノ活動ヲ爲スモノニ非ズトノ證左タル可キモノナリ。勿論開放準備ノ第三國ニ對スル通告ノ時期、方法等ニハ外交的考慮ノ拂ハレタルハ當然ナルモ開放自體ハ軍獨自ノ立場ヨリ決定セラレタルモノナリ

問　日米無條約狀態ノ影響如何。

答　日米間無條約狀態ノ出現ト同時ニ兩國ノ法規上當然ニ起ル可カリシ變化ハ、米國側ニ於テハ日本船ニ對スル噸税ノ增徵、燈臺稅ノ賦課及日本船ノ載貨ニ對スル從價一割稅ノ賦課ニシテ我方ニ在

REEL No. A-0564
0046
アジア歴史資料センター

リテハ米國品ニ對スル協定税率ノ適用停止ナリキ。右ニ對シテハ彼我兩國ノ自發的措置ニ依リテ無條約狀態ニ至ルモ何等從來ト變化ナキコトトナレリ。

又無條約狀態ニ立至リテ、邦人ノ米國入國ニ際シ「條約商人」ノ資格カ認メラレサルニ至リ、今後ハ從來ノ條約商人モ「一時渡航者」トシテ入國査證ヲ受クルコトトナリタルモ、此ノ種ノ一時渡航者ニ對シテハ六ケ月毎ニ滯在期間ヲ延長シ、事實上從來ト何等變化ナク事業ニ從事シ得ベク又從來「條約商人」ノ資格ニテ入國滯在中ノモノハ差當リ從前通リ滯在ヲ認メラルルコトトナリ居レリ。

從テ無條約狀態トナリテモ、差詰從來ト何等表面上ノ變化ハ無キモノト思考シ居レリ。

問　通商條約問題ノ今後ノ見透シ如何。

REEL No. A-0564
0047
アジア歴史資料センター

答

米國ハ新通商條約締結ノ前提要件トシテ日本及日本軍ノ占領地ニ於テ、米國ガ通商上ノ均等的取扱ヲ受クルコトニ在リトナシ、而シテ、支那ニ於テ、通貨、爲替、輸出入、居往通行、企業等ニ關シテ日本側ノ執リツツアル措置カ右前提要件ノ充足ヲ不可能ナラシムルモノナリトテ、先ツ右諸措置ノ是正方ニ關スル東京ノ話合ヲ續行シ度キ旨ヲ通告シ來リ居レリ。

又無條約狀態ニ立到リタル爲ノミニ依リ對日禁輸又ハ輸税引上等ノ實現性カ増大セル譯ニモ非ス、右ハ通商條約問題一般ト共ニ支那問題ヲ繞ル今後ノ日米關係一般ニ依テ規定セラルルモノト思考スル次第ナリ。

REEL No. A-0564
0048
アジア歴史資料センター

問　米國輿論ノ對日動向如何。

答　支那ニ對スル同情、我國ニ對スル經濟的財政的政治的認識ノ不足等ニ加ヘ、政黨方面及政府ノ内政關係ヘノ巧ミナル利用、共産黨ノ宣傳等ニ依リ、米國民ノ對日動向ハ事變以來頗ル遺憾ナルモノアリ。右ハ例ヘハ米國輿論研究所ノ調査ノ如キモノニモソノ一端ヲ察シ得ル所ナルカ、或ハ親支反日團体ノ結成ニ、新聞雜誌ノ論調ニ、日貨「ボイコット」ニ、集會ノ決議ニ、議會ノ討論ニ「ピケット」ニ、議會ニ對スル對日禁輸法案提出運動ニ、社會ノアラユル部門ニ亘リ反日的空氣ヲ横溢セシメ居ル現狀ナリ。

反日團体ニハ支那人關係團体、勞働團体、共産黨關係團体又ハ「キリスト」教關係團体等ノ外ニ、一般ヨリ親支反日ノ團体トシテ特ニ結成サレタルモノアリ。ソノ中ニハ「シカゴ」地方ノ社交界實業界、政治界等ノ有力人物ヲ網羅セル「ストップ・アーミング・ジャパン・コムミッティ」、米國前國務長官「スチムソン」ヲ名譽會長トスル紐育ノ

SP. 283

REEL No. A-0564
0049
アジア歴史資料センター

「日本侵略反對米國委員會」、太平洋岸ノ「チョイント・コムミッティー・ツー・ストップ・シップメント・オブ・ウォーア・マティリアル・ツー・ジャパン」等ソノ他頗ル多シ。

コレラ反日分子カ運動ノ目的トスルモノニ、所謂屑鐵其他軍需品ノ對日輸出禁止アリ。彼等ノ認識ニ依レハ日本ノ對支軍事行動ハ米國ヨリ日本ニ向ケラルル屑鐵其他ノ軍需品ニ依存スル所大ナレハ、米國ハ之ヲ禁止スル義務アリ且之ニヨリ事實上日本ノ對支行動ヲ阻害スルヲ得ヘシトナスナリ。コノ爲ニ執ラレタル措置ハ彼等ノ直接行動ニ依ル對日屑鐵輸出等ニ對スル「ピケット」ト中央地方議會ニ對スル對日禁輸案提出運動等種々ヲ數ヘ得ヘシ。「ピケット」運動中著名ナルハ太平洋岸ノ「ロングビーチ」港ニ於テ昭和十四年一月行ハレタル沖仲士組合ニヨル對日屑鐵輸出ニ對シテノ「ピケット」ナリ。

右ハ同地選出下院議員、加州副知事等ノ聲援アリタル模樣ニテ今日迄最モ大規模ナルモノト目セラレタルモ、荷主側ノ手配ト、市

REEL No. A-0564
0050
アジア歴史資料センター

當局ノ努力竝ニ彼等自身「パブリシテイ」カ目的ナリシ等ニヨリサシタル效果ナク終了セリ。

又對日輸出禁止法案提出運動ニハ「ステイムソン」前國務長官等力ヲ致ス事大イナルモノアルカ、實際地方議會等ニ提出サレタルモノトシテハ昭和十三年三月加州議會上院ニ提出サレタル對日軍需品輸出禁止法制定ヲ米國議會ニ要求セントスル提案アリタルモ對外政策ハ國務省ニ委ヌヘシトノ理由ヨリ否決セラレタルコトアリ。然シ米國議會ニ對日禁輸法案トシテ提出ヲ見ルニ至リタルモノハソノ數少シトセス。（別項參照）日貨不買運動モ依然繼續セラレツツアリ。

問　右ニ對スル我方ノ對策及今後ノ見透如何。

答　上來述ヘ來レル如ク米國民ノ反日動向ハ強ク且根強キモノアルヲ以テ之カ認識是正ハ一朝ニ爲シ得ル所ニ非ス。依ツテ政府ハコノ點ニ留意シツツ一般的啓蒙努力ニ愼重ト萬全ヲ期シツツアリ。

SP. 283

REEL No. A-0564
0051
アジア歴史資料センター

又「ピケツト」運動等米國各地ニ於ケル反日運動ニ對シテハ、具体的情況ニ應シ出先當局ニ於テ適當ナル處置ヲ講シ居レリ。

尚コノ米國民ノ反日動向ノ是正ニハ我國民カソノ眞相ヲヨク把握スヘキコトトソノ根本的原因ト見ラルル支那事變ノ一日モ速カニ解決スル樣協力スル事コソ何ヨリ肝要ト信ス。

REEL No. A-0564
0052
アジア歴史資料センター

(二) 日米懸案

○內容

○對策

[illegible]

REEL No. A-0564
0053
アジア歴史資料センター

問　巷間事變關係日米懸案六〇〇件ト云ハルルモ其ノ眞相如何

答　抑々事變關係ノ諸問題ハ凡テ支那現地ニ於ケル我方ノ軍事行動、占領地ノ治安確保上ノ必要及ビ地方政權ノ成立發展等非常且過渡的ハ事態ニ隨伴シテ生起セルモノナルヲ以テ之カ解決ニ當リテモ右事態ニ適應セル實際的考慮ヲ拂フニ非レハ早急且容易ニ解決シ得サルモノ多キ次第ナリ。故ニ現實ノ事情ニ最モ明ルキ我カ現地當局ニ於テ右實際的精神ヲ以テ問題ノ解決ヲ計ルコト最モ實効的ナルヲ以テ我方ハ米國側ニ對シ常ニ現地解決主義ヲ強調シ來リタリ。

然共米國側ニ於テハ必スシモ我方ノ實際的ナル現地解決主義ニ同調セス諸種ノ案件ヲ或ハ主義原則ノ問題ニ關聯セシメテ之ヲ中央ニ提起シ來リ或ハ中央ニ抗議シテ特ニソノ注意ヲ喚起セムカ爲現地問題ヲモ東京ニ於テ申人レ來リソノ總數二百數十件ニ及ヘル次第ナリ。而シテ案件六〇〇件トハ米國新聞方面ニ喧傳セラレタル

REEL No. A-0564
0054
アジア歴史資料センター

所ニシテ我方ハ如何ナル根據ニ基キテ六〇〇件ト稱スルヤヲ詳カニセサルカ事變發生以來一月末日現在迄ニ米國側ヨリ帝國外務省ニ對シ文書ヲ以テ申入レ越セル案件中現在懸案トナリ居ルモノヲ概述スレハ左ノ通リナリ

甲、被害問題

一、空襲ニ依ル損害　一四九件

二、占據、破壞、搬出、使用等ニ依ル損害　七三件

乙、其他（約十件）

本部類ニ屬スル懸案ハ左ノ通ニ分類シ得

(イ)米國政府ハ苟モ支那ニ於ケル新事態ノ承認ヲ意味スルカ如キ言動ハ極力之ヲ回避シツツモ又一方蔣政權治下ノ支那ニ對シテ米國ノ有シタル債權確保ノ爲ニ新事態ニ對スル米國ノ關心、表示乃至權利留保ノ態度ニ出テツツアリ。故ニ此種ノ懸案ニ屬スルモノハ海關、鹽務行政、北支ノ爲替管理、圓系通貨及

REEL No. A-0564
0055
アジア歴史資料センター

鐵道關係ノ借款問題等ニシテ之等ニ付テハ米國側ハ常ニ我方ニ對シ一定ノ申入レヲナシテ米國ノ權利ヲ留保シツツアリ。此ノ種問題ハ主トシテ支那ノ新事態ノ組織確定ヲ俟ッテ最終的解決ヲ計ル可キ性質ノモノナリ。

(ロ)其ノ他ノ問題ハ、我方カ軍事上及ヒ治安維持ノ必要上又ハ經濟開發ノ合理化等ノ爲ニ一般的（日本人ヲモ含ム）制限及條件ヲ附シ居ルニ對シ、米國カ條約上ノ權利ヲ楯ニ此等制限及條件ノ撤回乃至緩和ヲ要求シ來リ居レルモノナリ。揚子江開放問題、煙草、卵及ヒ皮革等ノ奥地土產品ノ買付問題、奥地通行ノ問題、輸出入統制ノ問題、企業統制ノ問題等カ此ノ種ニ屬スル懸案ナリ。

右種類ノ懸案中ニハ日滿支經濟提携ノ實行上將來ニ於テモ解決上考慮ヲ要スルモノアルモ、大體軍事行動ノ必要休止又ハ治安確保ノ實現ニ從ヒ漸次解決シ得ヘキモノ多シ。

SP. 263

REEL No. A-0564
0056
アジア歴史資料センター

問

懸案解決ニ對スル政府ノ處理方針如何

答

(一)被害問題ノ解決ニ關シテハ帝國政府トシテハ被害ニ對スル賠償責任ハ之ヲ否認スル建前ヲ採リツツ總ヘテ公正妥當ナル基礎ノ下ニ適宜見舞金又ハ救恤金ヲ交付シテ迅速ニ之カ解決ヲ計ルヘキ所存ナリ、而シテ我軍占領地區ノ分ニ關シテハ着々調査ヲ進メ來リタル次第ニシテ既ニ中支方面ニ於テハ其大半調査ノ完了ヲ見目下現地日米關係者間ニ於テ夫々解決交渉ニ入リツツアリ。又未占領地區ノ分ハ主トシテ空襲ニヨル被害ナルカ右ニ對シテハ實地調査ヲ行フコト不可能ナルヲ以テ一應空爆當時ノ情況ヲ基礎トシテ米國側ニ對シ中間回答ヲ爲シ居レリ。又未占領地區ノ事件ト雖モ米國人ノ身体生命ニ被害アリタルモノニ付テハ妥當ナル見舞金ヲ交付解決セリ。

(二)其他一般問題ニ關シテハ

(イ)支那ニ於ケル新事態ノ確立ヲ俟チ始メテ最終的解決ヲ爲シ

REEL No. A-0564

0057

アジア歴史資料センター

得ル範圍ノ案件ニ付テハ現狀ニ關スル詳細ナル説明ヲ與ヘテ我方ノ眞意闡明ニ努メツツアリ。

(ロ) 軍事治安及經濟開發上ノ諸制限ノ問題ニ關シテハ、其ノ據テ來ル所以ヲ充分ニ説明シテ現下ノ非常事態ニアル支那ニ於テ此ノ種案件ノ解決ヲ計ルニハ徒ニ主義、原則ニ固執スルコトナク、實際的建設的考慮ヲ以テ當ラサルヘカラサルコトヲ強調シ米國側ノ協調ヲ求ムルト共ニ我方トシテモ現地解決主義ヲ以テ米國側ノ立場ヲモ充分考慮シテ鋭意解決ヲ計リツツアリ。

REEL No. A-0564
0058
アジア歴史資料センター

問　將來被害事件ノ發生ノ絶無乃至減少ヲ期シ得ルヤ

答　帝國政府ハ事變初ヨリ第三國ノ在支權益ノ保護ニ付テハ萬全ノ措置ヲ講シソノ爲現地當該官憲ヲ督令シ居ル次第ナルカ何分現在支那ニ於テハ極メテ廣汎ナル軍事行動展開セラレ居リ且占領地域ノ治安維持ノ必要上ヨリモ第三國人ノ各種活動ニ對シテハ諸種ノ制限ヲ附セサルヲ得サルヲ以テ其ノ間當事者ノ人間的ニ容赦セラルヘキ錯誤乃至戰鬪行爲ニ伴フ作戰上不可避的ナル災害ノ發生ハ萬全ノ注意ヲ盡スモ到底之カ回避ハ期シ難カルヘシ。殊ニ支那軍ニ依ル米國權益ノ利用乃至同權益ニ至近セルソノ軍事施設ノ建設等ノ事實アリタルニモ鑑ミレハ我方カ如何ナル最善ノ注意ヲ以テシテモ此種被害事件ノ發生ノ絶無ハ之ヲ期シ得サル處ナリ、我方トシテハ今後共中央現地日米兩者間ニ於テ益々緊密ナル相互連絡ヲ計リ此種事件ノ發生ヲ極力防止シ度所存ナルコトハ勿論ナルカ之ト共ニ米國側ニ於テ在支米國人カ身命ヲ賭シテ戰ヒツツアル我

REEL No. A-0564
0059
アジア歴史資料センター

カ將兵ノ間ニアルコトヲ自覺シテ自重スルコト特ニ空爆ニ關シテハ其ノ權益ノ正確ナル所在ヲ事前ニ我方ニ詳報スルト共ニ充分ナル大キサヲ有シ且水平ニ展張セラレタル對空標識ヲ掲クルコト並ニ支那カ之ヲ軍事的ニ利用スルカ如キコトヲ許容セサルコトヲ要請シ居ル次第ナリ

SP. 283

REEL No. A-0564
0060
アジア歴史資料センター

問　支那ニ於テ排英運動ト共ニ排米運動アリタリト言フ風説米國ニ於テ流布セラレタルカ其眞相如何

答　支那ニ於ケル排英運動活潑トナリタル客年七月初旬以來巷間ニ於テ我方ノ煽動ニ基ク排米運動カ支那各地ニ於テ行ハレアリトノ噂一般ニ流布セラレ例ヘハ濟南、天津、青島、開封、岳陽、石家莊、北京、鷄公山、徐州、濰縣、太原、厦門、陳留、韓尚及杞縣等ニ於テ追出又ハ虐待セラレ居ルカ如キ報道傳唱セラレタルカ米國諸新聞亦是ヲ誇大ニ宣傳シテ米國輿論ヲ刺戟セリ。

特ニ甚タシキハ開封ノ件ニシテ或ハ「開封在住ノ米人ヨリ在支米國大使館ニ日本軍ハ在同地米人數名ヲ監禁セル旨ノ書面ヲ送リタリ」トカ或ハ「開封在住ノ米國人三十名ハ全部同地ヨリ立退カシメラレタリ」トカノ惡宣傳カ流布セラレタリ。

本件ハ當初ヨリ「デマ」宣傳ナルコト明瞭ナリシモ特ニ事態ヲ明白ナラシムル爲是等各地ニ亘リ出先公館ニ對シ徹底的ニ眞相ノ調

REEL No. A-0564
0061
アジア歴史資料センター

査ヲ命シタリ。其ノ結果コレ等ノ報道ハ全ク事實無根ノ虚報ナルコトヲ確認セル次第ニシテ、例ヘハ最モ排米運動ノ激シカリシト言ハルル開封ニ於テスラ八月下旬同地在住有力米人等ハ「同地ハ最前線ナルニ拘ハラス日本軍ニ保護セラレテ秩序カ維持セラレ同地在住米人三十名ハ何等ノ危害ヲ受グルコト無ク平和裡ニ業務ヲ遂行シ居ル旨聲明ヲ發シタル程ナリ。

問　然ラハ何故ニ斯ル風説流布セラレタリヤ

答　一方ニ於テ反英運動ニヨリテ被害ヲ受ケタル在支英國人側ノ米國人抱込策、蔣政權及「コミンテルン」側ノ日米離間策、其他反日分子ノ反日策動ニ基因スルモノニシテ他方日米通商條約廢棄通告後ニ於ケル日本ノ對米壓迫ヲ危惧シ疑心暗鬼ヲ懷キタル在支米國人カ前顯諸策動ニ乘セラレテ遂ニ右ノ如キ對日悪宣傳カ流布セラルルニ至リタルモノト思料ス。

又排英運動ノ對象トナリタル在支加奈陀人宣教師カ米國人ト混同セラレタル事件モアリタル次第ナリ。

SP. 283

REEL No. A-0564
0062
アジア歴史資料センター

(三)日米國交調整

○對米外交ノ目標

SP. 283

REEL No. A-0564

0063

アジア歴史資料センター

問　對米外交ノ目標如何

答　現下ノ帝國外交ハ事變處理及東亞新秩序建設ノ大目的ニ集約セラレサル可カラサルコトハ論ヲ俟タス。從テ對米外交ニ於テモ、米國ヲシテ東亞新秩序ヲ認メシメ之カ建設ニ同調乃至協力セシムルコトヲ目標トシツツアリ。一方事變處理ノ防害トナルカ如キ事態ノ發生ヲ防止シ且第三國トノ摩擦ヲ出來得ル限リ回避スルコトヲモ計ラサル可カラスシテ、其ノ爲ニ如何ナル方法、態度ヲ執ル可キカニ付諸般ノ情況ヲ判定シテ愼重ヲ期シ居ル次第ナリ。然共摩擦回避又ハ國交調整ノ爲ト雖モ東亞新秩序建設ノ大目的ヲ枉クルコトヲ許ササルハ勿論ナルヲ以テ、兩者ヲ睨ミ合セテ機宜ノ處置ヲ講ス可ク腐心シツツアリ。

REEL No. A-0564
0064
アジア歴史資料センター

問　日米國交調整ノ爲政府ハ如何ナル努力ヲ拂ヒツツアリヤ

答　米國側ニ於テハ帝國カ支那ニ於テ經濟獨占ヲ企圖シツツアルヤノ先入的疑惑ヲ有シ、我方ノ軍事上ノ必要ニ基ク諸制限及空爆其ノ他ニ依ル被害事件ニ付テモ右先入主ニ捉ハレタル見方ヲナス結果常ニ我方ニ惡意アルカ如ク判斷スルノ傾向アリ。又米國ハ支那ニ關シテ有スル條約上ノ權利ヲ平常時ト同樣ニ享受ス可キコトヲ主張シ居レリ。

右ハ米國側ニ於テ過去二年有半來支那ノ廣汎ナル地域ニ於テ大規模ノ軍事行動カ行ハレツツアルノ事實、竝ニ我方カ被害事件發生防止ニ苦心シ居レル誠意ヲ認識セサルコトニ發足スルモノナルヲ以テ、諸懸案解決又ハ國交調整ノ出發點ハ米國側ニ於テ支那ノ非常事態ト我方ノ誠意ヲ承認スルコトニ在ル次第ナリ。右ハ我方ノ常ニ强調シ居レル所ナレ共未タ米國側ヲ承服セシメ得サルハ頗ル遺憾ナリ。

REEL No. A-0564
0065
アジア歴史資料センター